

## つるみ在宅ケアネットワーク 第19回合同勉強会報告書

日時 平成31年2月22日(金) 19:00~21:00

場所 済生会横浜市東部病院3階多目的ホール

19:00 開会あいさつ

鶴見区医師会理事 佐藤 剛



あいさつ

鶴見区福祉保健センター長 花内 洋 様



### 第1部

【情報提供1】19:10

鶴見区歯科医師会より 「つるつるお口の相談室活動報告」

鶴見区歯科医師会会長 佐藤 信二 先生

- ・「口腔内腫瘍事例」について
- ・健診と連携の必要性



鶴見薬剤師会より 「鶴見薬剤師会における防災対策およびネットワーク」

田辺薬局 薬局事業部 河野 一規 様

- ・災害時医薬備蓄薬局
- ・横浜市災害備蓄医薬品(急性期疾患・慢性期疾患用)
- ・鶴見区薬剤師会在宅受入可能薬局リスト



### 第2部

19:30 テーマ:「在宅療養者を支援する際の本人の意思決定を尊重するとは・・・」

座長: 渡辺医院 院長 渡辺 雄幸 先生

基調講演:「本人の意思に沿った最期を迎えるために我々がすべきこと」

済生会横浜市 東部病院 救命救急センター長 山崎 元靖 先生

今日の目的:あくまで、本人の意思に沿った最期を迎えるためには、どうすれば良いのか?

- ・超高齢社会の実態:社会全体の見方を岩本みどり氏の話
- ・厚労省の研修会:患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会報告
- ・救急現場での心肺蘇生等のありかたについて
- ・埼玉・東京・横浜のとりくみ紹介と対比しながら、横浜市の取り組みの最新状況
- ・倫理的課題をふまえて我々がすべきこと



鶴見消防署からの情報提供 救急担当課長 村木 秀臣 様

- ・平成30年(1~12月)救急概況速報
- ・不搬送の状況
- ・つるみ在宅ケアネットワーク連携ノート救急隊活用状況



\*イメージ フロー図を用いてガイドラインのおさらい  
会場との意見交換

2題の質問と2つの意見が出されました。



【情報提供 2】 20:35~

鶴見区医療機関一覧 最新版

横浜市生麦地域ケアプラザ 主任ケアマネジャー 高野 聡 様



「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針」ダイジェスト版紹介

鶴見区高齢障害支援課 地域包括ケア推進担当係長 高橋 一輝 様



鶴見区在宅医療連携拠点報告

鶴見区医師会在宅部門 鈴木 志律江

- ・鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」事業報告
- ・つるみ在宅ケアネットワーク連携ノートの紹介
- ・2019年度つるみ在宅ケアネットワーク・鶴見区在宅医療連携拠点事業予定



「サルビアねっと」について

済生会横浜市東部病院 事務部顧問各サービス課長 小川 亨 様



20:45~ 病院ならび参加の先生方のご紹介



閉会の挨拶

在宅医療連携拠点担当医 佐藤 忠昭



【出席者数：112名】

医師 15名 歯科医 6名 薬剤師 4名

行政 3名 社協 0名

医療連携室 15名

地域包括 14名 サービス事業所 55名

(当日出席者：0名 当日欠席者：21名)